



～生活の舞台～ 第10回目 ミニシアター

メインホールの片隅に設けられた、こちら謎の空間。特に名前はありません。応接間のように応接間でもなく。リラクゼーションルームというほど大袈裟なものでもなく。しいて名前をつけるとしたら「ミニシアター」といったところなのでしょうか。

もちろん、誰が座っても構いません。頭部まで背もたれのあるゆったりチェアに腰を沈め、ゆったりとテレビ観戦するもよし、向かいや隣の方とお喋りするもよし、またはウトウト昼寝をするもよし。席数は限られておりますが、利用される皆さんは思い思いの利用法で、こちらの空間を活用されています。

スタッフの私も、以前試しに座ってみたのですが…なるほど、これは気持ちいい(笑)



入所者様の、ある日の日常風景。



今日も笑顔の花が咲きます。利用者様の笑顔と元気が私たちの活力です。

入所者様の日常 と職員の非日常

ふたばよもやま話 (第四十二回)

～住宅地の戦争遺構～

北九州市小倉南区南若園町の住宅地に、謎の遺構があります。隧道(トンネル)の形状をしています。奥行きは3メートル程しかありません。

隧道は「鉾津(こうさい)煉瓦積み」で形成されています。製鉄の工程で出る鉄の副産物を滓(かす)またはスラグと呼び、そのスラグを原料とした煉瓦を鉾津煉瓦と呼びます。そしてこの隧道、上部の楔石(くさびいし※)には『工兵第十二大隊』と刻まれています。また、奥壁も煉瓦で形状が綺麗に整えられています。

工兵第12大隊は明治30年6月(明治31年説あり)北方(現北九州市立大学付近)に移転してきて、大正9年頃、工兵第12大隊から工兵第12連隊に名称変更されています。その為、本隧道は明治30年代から大正9年の間に造られたことがわかります。一部のネットでは防空壕と書かれていますが、防空壕説には無理があるようです。

形状から推測すると、工兵隊の研究坑道または演習坑道として造られたものと思われますが、真相は不明です。

※楔石…石や煉瓦で作るアーチ状の構造物の中央に差し込む楔形の石のことで、全体の重みを受けてアーチをしっかりと固定し形を保つという大切な役割をもちます。別名、要石(かなめいし)とも。



住宅地に異彩を放つ隧道。現在は付近の住民のゴミ集積場。戦争遺構であることは間違いないが、「軍都であった小倉の歴史の証人として、保存を願う。」



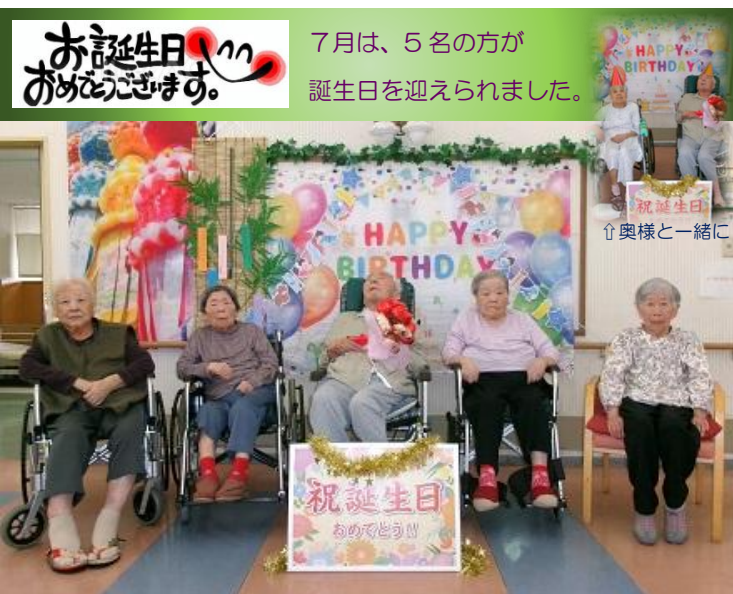
隧道横の石垣は、後から造られたように見える。何のためにここに造られたのか、という活用がされていたのか。謎が多いだけに、興味は尽きない。



『工兵第十二大隊』と刻まれた扁額。工兵第十二連隊は、久留米で編成された菊兵团の連隊として昭和十七年二月、シンガポール攻略に参戦。その後はビルマ(現ミャンマー)に転戦し、終戦を迎えている。



今年も参加しました、戸畑祇園大山笠競演会。元気で負けません。



【編集雑記】▼先月号でお知らせしたように、小倉南区南若園町にある戦争遺構を訪ねてみた。なかなか精巧な構造で、丁寧に造られている。奥行きこそ浅いが、天井高は思ったより高い。造られた後、弾薬庫、あるいは貴重品の倉庫に使われたのかも考えたが、貴重品を保管するには扉が必須であるのにその痕跡も確認できない。全く謎の戦争遺構(戦跡)である▼元来、戦跡には謎の箇所も多い。国防上、秘密にしておかなければならない部分も多く、例えば、現在の潜水艦がどのくらいまで潜って作戦を行えるかはトップシークレットであり、その国の国力が推測されないよう細心の注意を払っている▼旧日本海軍の象徴であった戦艦大和は、極秘のうちに計画、建造された。戦艦大和の建造拠点となった広島県呉市では、呉線の鉄道沿線に不必要な倉庫が建てられ、列車の窓から巨大戦艦の建造が見えないようにし、さらには万全を期すように、列車の窓の日除けを強制的に下ろすように指示があった、と記録にある▼北九州には関門海峡という国防上の最重要地区があり、砲台や基地、大戦末期には高射砲陣地も多数配備された。現大手町病院一帯は軍の兵器工場として広大な敷地を有し、現在入口こそ封鎖されているが、地下には工場の一部も現存している▼当然そこで働く人や生活する人には、今では想像もできないような制約があったと思われる。現在、双葉苑で生活しておられる入所者様も大なり小なり、この大変な時代に関わってきたことと思う▼物騒な話題が飛び交う現代。入所者様の体験を伺い、苦労されてきたからこそ今の我々の生活と安全があることに、あらためて感謝せねばならない。また併せて、他人や自然を思いやり、我が国特有の美しい心と自然を後世に継がねばならない。

今月の予定 (8月)

石橋胃腸内科医院 回診 (毎月曜日)

3日、10日、17日、24日、31日

ますゆき皮膚科クリニック 回診

6日(木)

小倉南歯科医院 回診 (毎火・木曜日)

4日、6日、18日、20日、25日、27日

ビューティヘルパー (訪問理美容)

19日(水)

夏まつり

8月下旬